



青木陽展

Inverted Spectrum

2016年2月9日(火) — 2月26日(金)

第12回写真「I.WALL」
グランプリ受賞者個展

Photography
I.WALL

11:00—19:00

日曜・祝日休館 入場無料

ときたま歯が痛むという人がいる。その人は虫歯があるのか知覚過敏か、その人の歯痛のわけを知り、あるいは同情する。しかしどこまでいってもその痛みはその人のものであり私の痛みにはならない。

電脳化機器の浸透による写真撮影、開示の一般化には著しいものがあり、一過性の画像、現れては消えていく膨大な数の写真に溢れています。またその前提として特に90年代以降、綿密な構想、文脈や物語性など言語を基調とした理論に頼らない表現、ごく私的な空間の提示、一瞬の感覚の共有を目指す写真表現の試みが広く受け容れられてきました。

写真はある特定の時間、場所を画像にして定着したものです。撮影された目的に係らず、写真には自然な意味、示されたいつかのどこか、があります。写真は画面の中に限っては対象の知覚以前の視覚的な感覚の共有を仮想的に実現する媒体であり、私たちの写真についての経験は、一方では非常な親密さを感じると同時に、内容の理解の点では非常に曖昧なものに留まるという矛盾を生みます。

青木 陽





理屈が通らない気持ちを押し付けられると迷惑だ。気持ちを理屈で説明されると退屈だ。青木陽の作品には理屈と気持ちを感じるが、そのどちらでもない。状況や現象や技術といった自分の外側にあることを検証することを撮影の起点に置きながら、記憶や想像や衝動といった自分の内側にあることを半ば偶然に発見し、写している。そういった相反する目が同居している。低温だけれど優しい写真だ。さて、どういった定着を試みるのか楽しみだ。

菊地敦己

オープニング
パーティー

2016年2月9日[火]

19:00-20:30

青木 陽 Yoh Aoki

1982年広島県生まれ。2011年早稲田大学第一文学部総合人文学科哲学専修卒業。受賞 / 2015年TOKYO FRONTLINE PHOTO AWARD #5 準グランプリ、第12回写真「1_WALL」グランプリ、2014年第11回写真「1_WALL」審査員奨励賞[鷹野隆大選]、2013年塩竈フォトフェスティバル 2013 入選、東川町国際写真フェスティバル 赤レンガ公開ポートフォリオオーディション 2013 グランプリ。個展 / 2014年Art Gallery M84[東京]。グループ展 / 2015年第12回写真「1_WALL」展 ガーディアン・ガーデン[東京]。

トークイベント

2016年2月18日[木]

19:10-20:40

アートディレクター

菊地敦己×青木 陽

第12回写真「1_WALL」展

2015年5月11日[月]-6月4日[木]

審査員[五十音順/敬称略]

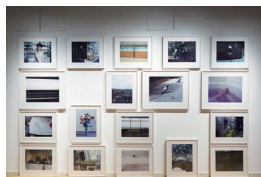
菊地敦己 | アートディレクター

鷹野隆大 | 写真家

高橋朗 | フォト・ギャラリー・インターナショナル
ギャラリーディレクター

土田ヒロミ | 写真家

町口覚 | アートディレクター / パブリッシャー



第12回写真「1_WALL」展の展示作品
「反転スペクトル、サークル」

*詳細はWEBをご覧ください



ガーディアン・ガーデン 〒104-8227 東京都中央区銀座7-3-5 ヒューリック銀座7丁目ビルB1F
 TEL | 03-5568-8818 FAX | 03-5568-0512 WEB | <http://rec.recruit.co.jp/>
 Twitter | @guardiangarden Facebook | [facebook.com/guardiangarden.tokyo](https://www.facebook.com/guardiangarden.tokyo)



Guardian Garden

RECRUIT